



平成 29 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマザワ
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭
(コード：9993、東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長
兼 総務部長 佐藤 慎三
(TEL. 023-631-2211)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月期第 4 四半期において、固定資産の減損処理等により下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 28 年 4 月 14 日に公表いたしました平成 29 年 2 月期（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する店舗等の一部の固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、その認識・測定を行った結果、平成 29 年 2 月期第 4 四半期において、固定資産の減損損失 10 億 7 百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 平成 29 年 2 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 115,500	百万円 1,750	百万円 1,800	百万円 2,000	円 銭 183.76
今回修正予想 (B)	114,111	1,551	1,625	1,361	125.04
増減額 (B-A)	△1,389	△199	△175	△639	
増減率 (%)	△1.2	△11.4	△9.7	△32.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	114,266	1,817	1,988	517	47.50

3. 修正の理由

当連結会計年度につきましては、競合各社との価格競争・業態を超えた競争の激化などの厳しい状況により、売上高、営業利益、経常利益が各々当初予想を下回る見通しとなりました。

また、今回特別損失を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を下回る見通しとなりましたので、上記のとおり通期連結業績予想を修正いたします。

注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上